

ENEOS 海外渡航支援事業報告書 (学会渡航)

2024 年 6 月 12 日

工学部・工学研究科修士課程 (どちらか○で囲む)
所属学科・専攻・回生 建築学 学科 専攻 2 回生

氏 名 松岡知哉

1. 参加期間 2024 年 5 月 19 日 から 2024 年 5 月 24 日

2. 会場 (開催国・場所・機関等)

中国河南省鄭州の河南省黄河迎賓館で開催された国際学会 Asian Congress of Structural and Multidisciplinary Optimization (ACSMO2024) に、研究発表のため参加した。

3. 発表成果 (概要)

修士課程に在籍してから 1 年ほどの研究成果を「Topology Optimization of Periodic Lattice Structures Considering Member Connectivity」と題し発表した。また、口頭発表に加え、1 ページのアブストラクトと 9 ページのフルペーパーを提出した。

機械工学分野において、連続体構造を対象とする、機械学習による力学特性の評価やそれを用いた構造最適化の研究が盛んな一方、建築分野の骨組構造がそのような研究の対象とされることは比較的少ない。そこで私の研究では、骨組構造の力学特性の評価に機械学習を活用する手法を提案した。

学会では、中国、韓国、日本から出席した研究者の方々の研究発表を拝聴し、私の研究についても多くの方々から貴重なご意見をいただいた。自分の研究範囲の内外を問わず多くのことを学び、今後の研究の方向性を広げた。

4. 奨学金の使途

中国渡航の旅費、学会の参加費、滞在中の宿泊費に使用した。